

七ヶ浜町社協だより

2025
5月号
Vol.131

Shakyo Letter

シャキョーレター

ホームページ
新しくなりました



ホームページ リニューアルのお知らせ



令和 7 年 2 月より、ホームページをリニューアル致しました。今回のリニューアルでは、町民の皆様がより見やすく、より福祉に興味関心が湧くような内容にしております。

身近な情報を随時発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

社会福祉法人 七ヶ浜町社会福祉協議会

URL <https://shakyo-shichigahama.com/>



七ヶ浜社協
ホームページ

モデル：七ヶ浜在住 こうちゃん

令和6年度福祉学習推進事業

キャップハンディ体験で 「広がる思いやりの心」

令和7年1月23日と27日に汐見小学校、2月5日に松ヶ浜小学校よりキャップハンディ体験のご依頼をいただき、「車いす体験」と「高齢者疑似体験」を行いました。



△汐見小学校3年生「車いす体験」

▼松ヶ浜小学校4年生「高齢者疑似体験」



ご高齢の方、障害を抱える方の不自由さを体感できる機会となりました。

児童からは「困っている人がいたら、まずは声を掛けて何か手助けをしたい。」等の声を聞くことができました。



七ヶ浜町ボランティアネットワーク研修会

命を守る技術は 一人ひとりの手の中にある

令和7年3月6日(木)七ヶ浜町中央公民館大会議室にて、町内のボランティア団体を対象に救命救急講習を開催しました。

内容は心肺蘇生法、AEDの使用法、実際のシュミレーションを通じて、迅速かつ適切な対応を実践的に学ぶことができました。

参加者からは「いざって時に119番が出てこない。」「救命救急講習は何度やってもいい。」等の意見が出され、もしもの時に冷静な行動ができるかを再認識した研修会となりました。

災害公営住宅入居被災者見守り・相談ネットワーク構築事業 対象地区（松ヶ浜、菖蒲田浜、花渚浜、吉田浜、代ヶ崎浜）



▲代ヶ崎浜 レクリエーション

災害公営住宅入居被災者見守り、相談ネットワーク事業は国の交付金により運営しておりますが、この交付金が令和7年度をもって終了となり、事業継続が困難となります。

しかしながら、この事業は継続していくべきと多くの町民の皆様よりお声があがっており、当会としても考えは同じです。

事業継続ができるか大きな変革期になる令和7年度。町民の皆様、関係機関の皆様と共に方針を定めてまいりたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



▲松ヶ浜 絵手紙教室



▲吉田浜 そば打ち教室



▲花渚浜 防災講話



▲菖蒲田浜 フラワーアレンジメント

地域に支え手 スキルアップ



共同募金会の助成により、令和7年2月17日（月）七ヶ浜町社会福祉協議会会議室を会場に「つながりワーカー養成研修会」（地域での孤立を防ぎ、又、孤立に気づき、つながり、つなげ、見守る人材を養成する研修）を開催しました。

普段から見守り活動を行っている民生委員の方々と社協職員（生活支援相談員）が参加し、研修動画を見ながらワークブックを基に演習・グループワークを行い、研修終了後に参加した方へ修了証書を交付しました。

参加した民生委員の方々は日頃から見守り活動を行っていますが、気になる方への望ましい声かけ方法や、つなげる先の再確認ができたとの声があり、とても有意義な研修となりました。

新しい門出を心からお祝いします



令和6年度も七ヶ浜中学校、向洋中学校の卒業生に卒業記念品（ボールペン）、また、亦楽小学校、松ヶ浜小学校、汐見小学校の入学生に入学記念品（防犯ブザー）を贈呈させていただきました。

卒業生、入学生の皆さんおめでとうございます。



令和7年度高齢者交流機会確保事業のご案内

『ひとり暮らしのシニアの笑顔を応援!』

七ヶ浜町社会福祉協議会では、**75歳以上の単身高齢者**の方を対象に①土曜喫茶室、②日帰り旅行会、③おせち料理宅配事業、④誕生日プレゼント配布事業を行っております。



土曜喫茶室

集いの場



日帰り旅行会



おせち料理宅配事業

見守り



誕生日プレゼント事業

集いの場に参加したい、または見守りを希望される方は、七ヶ浜町社会福祉協議会までご連絡ください。

七ヶ浜町社会福祉協議会 担当：鈴木 優 TEL 022-349-7781

令和7年度ボランティア保険の更新お忘れなく!!

個人・団体でボランティア活動をしている方々のための活動保険、地域の集いの場へ参加される方々向けの行事保険・いきいきふれあいサロン保険のご案内です。

種 類	ボランティア活動保険	ボランティア・福祉行事保険	いきいきふれあいサロン保険
保険料	個人・団体 1人につき ・Aプラン 300円 ・Bプラン 500円 ・Cプラン 700円	1日1人につき ◆A区分 30円 …… サロン活動、バザー等 ◆B区分 136円 …… 運動会、防災訓練等 ◆C区分 266円 …… サッカー、ラクビー等 ※最低20名からの加入になります。	1日1人につき20円 ※1日あたりの参加者が平均20人以上。
補償期間	加入日の翌日から令和8年3月31日まで。	行事開催期間	行事開催期間

- 各保険商品の補償金額や保険料等についての専用のパンフレットをご用意しておりますので、七ヶ浜町社会福祉協議会までお問い合わせください。



東北財務局より『多重債務者相談窓口』のご案内

返しきれない借金で悩んでいませんか?



東北財務局では、借金を抱えてお悩みの個人(自営業者の方含む)の方々からの相談を受け付けています。

一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。(相談無料、秘密厳守)

■ 受付時間

月～金 (祝日、年末年始を除く)
9:00～12:00、13:00～17:00

■ 連絡先

東北財務局 多重債務者相談窓口
仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟5階
電話 022-266-5703 (直通)

社会福祉法人 七ヶ浜町社会福祉協議会

令和7年度事業計画

七ヶ浜町民の皆様には、平素より当会事業運営に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年2月26日に発生した岩手県大船渡市の大規模山林火災で被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。この火災においては令和6年1月、石川県能登半島地震に続いての激甚災害と指定され、毎年のように各地域において他人事と思えない災害が発生しております。

当会としてこれまでも災害に備えた準備を職員は勿論のこと、町民の皆様へ災害の意識付けをするための事業運営を行ってまいりました。

令和7年度の事業計画においては、「ひととひととが支えあい、生きがいをもっていきる」を従来通り基本理念として掲げ、社会問題となっている引きこもりの方々を対象とした支援を新たに展開してまいります。

社協が地域福祉の中核機能を持たなければならぬ自覚と覚悟を持ち、昨年度以上に各種福祉事業を推進してまいりますので、今後とも宜しく願います。

会長 大町 睦夫

1. 基本方針

《ひととひとがつながり支えあい生きがいをもっていきる》

令和7年度の事業計画については、令和元年度に策定いたしました第2次七ヶ浜町地域福祉活動計画（2019年度～2028年度）における基本理念《ひととひとがつながり支えあい生きがいをもっていきる》、「ソーシャル・キャピタル（人と人との関係性や繋がりを、資源として捉えて評価する考え）の醸成」を掲げた方向性を基に、一人ひとりができることを一つひとつ行動に移し、「支え合い」「見守り」の輪を広げ、生活そのものを支える力を皆様と共に高められるよう推進いたします。

東日本大震災より14年が経過する今年度をもち、国は復興関連事業に目途をつける方針です。そのため、当会が実施する復興関連事業においても大幅に見直しを図らなければなりません。しかしながら、震災後の地域コミュニティ状況等を鑑みても、今後の地域の福祉向上を目指していく上では継続した関わりが重要となります。この1年間は新しい地域支援の土台を作り上げていき、より充実した地域コミュニティの推進を図れるよう事業を展開してまいります。

そして、令和7年は国民4人に1人が75歳以上となる超高齢化社会に突入する年といわれています。

他にも8050問題、災害の激甚化、子どもの貧困等、焦点を当てなければならぬ問題が山積しているこの時代を乗り越えるため、当会は住民、各種関係機関との連携を図り、誰もが安心して過ごすことができる社会の実現に向けて危機管理、改革意識を持ち全職員一同、次の事業を進めていく所存であります。

2. 経営方針

基本方針の見出しにある《ひととひとがつながり支えあい生きがいをもつていきる》は、七ヶ浜町社会福祉協議会の基本理念でもあり、この理念の具体化に向け、以下を経営方針として事業を展開するものです。

- (1) 関係機関・関係団体等とのネットワークの強化
- (2) 地域住民が支え合う福祉のまちづくりの推進
- (3) 安心して暮らせる福祉サービスの充実
- (4) より信頼される法人を目指した組織体制の強化



3. 重点事業

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進を図るため、活動場所の紹介やボランティア団体間の連携を図り、広報誌等を利用してボランティアに関する情報を発信し、ボランティア活動に参加するきっかけづくりを行います。また、近年、様々な災害が発生しており、災害の内容に則した対応ができるよう、東日本大震災や災害派遣の経験を活かし、継続的な災害ボランティアセンター運営に関する研修会に取り組みとともに、日頃から災害に備えた対策や意識づけのための事業を進めてまいります。

このように、ボランティアの日常活動のための拠点づくりや、災害対応のボランティアのための拠点づくりとして、ボランティアセンター機能を充実させてまいります。

(2) 福祉学習の推進

住民自らが福祉を身近な課題として認識し、主体的に行動する力、高齢者や障がいを持つ方の暮らしを学ぶ機会を作るため、地域や福祉団体、ボランティアグループなど地域社会資源との連携を図り、身近な福祉課題を共有する場の設定が必要と考えます。併せて、東日本大震災での経験を風化させないため、小中学校との連携や地区住民と共に次世代に伝承してまいります。

(3) つどいの場づくりの推進

高齢者の生きがいづくりや地域交流の機会を提供するため、75歳以上の単身高齢者を対象に高齢者交流機会確保事業を実施してまいります。

また、各地区のご近所同士の気軽な声掛けや、お茶を飲みながらの世間話等をする自主的なつどいの場づくりへの支援を行い、顔の見える関係性の構築を地区住民の皆様と共に進めてまいります。

(4) 地域支え合い活動の推進

被災者支援から平時の地域支え合い活動を目指し、支援が必要な方々の見守りや、身近な住民同士の支え合い「ゆるやかな見守り」等、サロン活動や訪問活動とおしながら課題を抽出し、住民の暮らしや環境づくりを地区住民と共に進めてまいります。同時に、地域を問わず老後や病気等について地区の方に相談しづらいような案件は、専門職等に相談できるよう総合的な相談支援体制を講じてまいります。

(5) 地域子育て支援の推進

頼れる人が近くにいない核家族や共働き等の環境で子育ての支援を必要としている方のために、子育て経験者や子育てに関心を持つ地域のみなさんと一緒に、豊かな人間関係のもと、安心して子育てができ、子どもたちが安全に楽しく遊び・学べる等の支援ができる環境づくりに取り組んでまいります。

また、障がいを持つ子どもをサポートするための相談支援や活用できる福祉サービスについての情報提供、情報交換会や交流会等保護者同士がつながり合える場の創出に、関係機関とも協力し、より一層充実したものにできるよう取り組んでまいります。

(6) 社協の運営・組織の基礎体制整備

各種事業や社協だよりを通じ、社協をより身近に感じていただくことで、一般会員の維持と賛助会員・特別会員の増加を図り、活動基盤となる限られた財源を適切に各種事業へと配分します。

また、ホームページを運用し、みなさんに社協の事業や福祉に関する情報等が提供できるよう取り組んでまいります。

「ShakyoLetter Vol. 130 一部訂正について」

ShakyoLetter 2月号 Vol.130 の記載内容に誤りがございました。つきましては下記の通り訂正をさせていただきます。

【訂正箇所】P2 福祉避難所の設置運営訓練実施

(誤) 指定されている福祉避難所は町内に8か所 → (正) 協定等による福祉避難所は町内に7か所



障害者グループホーム OPEN

頑張るあなたを応援したい



施設紹介

令和7年2月、七ヶ浜町遠山に障害者のグループホーム「どんぐり1号館」を開設しました。女性専用のホームで、施設内は女性らしいインテリアやデザインとなっています。障害を抱えていても、少しのサポートがあれば地域で生活を続けられる、そのベースとなる住まいを提供するのが私たち「どんぐり1号館」のグループホームです。女性だけの5名定員という小規模の環境だからこそ、アットホームな環境を作りあげることができます。

ご入居希望の皆様へ一言

入居者の皆様が、就労もプライベートも充実し、安心できる生活を送れるような日常を支援していきたいと考えています。まだ空室がありますので、お気軽にお問合せ下さい。



施設名：障がい者グループホーム「どんぐり1号館」
対象者：知的又は精神障害（障害支援区分1～3程度）
住 所：七ヶ浜町遠山 2-5-32
電 話：080-5267-0045（担当）行本、鈴木

 **どんぐり1号館**

編集/七ヶ浜町社協広報部会
発行日/令和7年5月1日
印刷/有プリンティングサトー

発行/社会福祉法人七ヶ浜町社会福祉協議会
〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153
TEL(022)349-7781 FAX(022)349-7782
Mail sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp
URL <https://shakyo-shichigahama.com/>



七ヶ浜社協
ホームページ